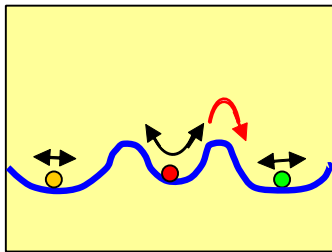


時代は刻々と大変化を遂げ、もはや過去栄光拘泥(現状維持)こそが致命症になるだろう。然るにルーチン仕事平時指導者は誰でも出来たが、乱世では全く事情が変わってくる。既成観念絶対呪縛の下での皆の連日会議で何が**将来の本物**にできるのだろうか??、

[0] : 混乱混沌を介しての次期秩序形成?! :

(1)毛虫から蝶への**“変身”**の秘密?!。



毛虫が蝶になる前の蚕の中内部では**液状化**が起きて蝶に変身と言うから驚きだ。液体とは一つ無秩序であるし、また融通の利かない固体と異なり、自由変身できるという事なのだろう。地を這う毛虫は鳥に見つかれば命が無い、一刻も早く飛びたい。個体発生は進化過程を辿るという。ならば毛虫から蝶への進化はどうして起きた??、進化現場を見た者は誰も居ない!!!

(遺伝子合成は化学反応化で進化で無い?)。液状化中の毛虫の意識とは??????、

(2)**政治革命**=内部外部要因変化と進化(退化?)。

時代は常時変化があり、何時までも過去平時でありえない事だ(経済気候変動危機進行)。革命中の国民意識は旧体制忌避であり、旧支配者にすれば既得権益守旧是非の重大事、この衝突が液状化混沌であり、上図の右山を越えれば次期秩序へ遷移(政治革命)となる。

(3)**政治反革命** :

国民意識変革が無ければ時代遅れ=危機非対応組織の継続で破滅へ。支配者にすれば平時の大量の飴が国民分配できないので国民抑圧特化(反革命)が必須。

[1] : 反革命先行の米国。

(1)現代アメリカでは既に反革命が用意されてる<政府全権委譲の FEMA 軍事独裁政権>。

アメリカで準備されている、クーデター計画。

<http://alternativerereportl.seesaa.net/article/213447859.html>

戦後発足 CIA が**ナチス再生**で在った事実からして、米国軍産複合体に深く広く浸透したこの勢力(ロックフェラー戦争屋)がファシズム指向するのは必然で驚くべき話ではない。

(2)米国戦利品=戦後徹底搾取対象国=日本の方向?!。

2009年10月の民主党政権は本来是を否定する方向に在ったのだが、見えにくい反革命の結果、民主党内部反乱もあって瓦解に瀕してるのは皆が承知の通り。だがこの{内部反乱分子+守旧派保守野党}への国民支持は無い。米追隨に徹すれば己は救済と思う菅首相。

[http://blogs.yahoo.co.jp/hisa\\_yamamot/25358582.html](http://blogs.yahoo.co.jp/hisa_yamamot/25358582.html)

[2] : 米国にトコトン馬鹿にされる日本人には相応の落ち度理由がある (人事破綻国!!!).  
平時には見えない事が危急時には本性がむき出しになる結果、誰にも頭になる。3/11 国難は凶らずも日本人事破綻が暴露されてしまった。そも前大敗戦根源も人事破綻<支配者無能無責任エゴ>である事だ。この問題こそは将来是非を賭け、徹底追及せねばならない。

(1)最大醜悪は“裏切り者”の存在!!! (現日本は総裏切りの勸め、墓穴を掘る醜態!!!)。

(a)この世で最も醜悪なのは己小エゴに殉じて大局正道を裏切る行為者、戦後天皇家を筆頭に日本支配階級(旧官僚+旧財界)が皆、飴と鞭で、対米追従の結果の総裏切りの勸めである。天皇家がこの兜機能を果たしてる事に注目、戦勝軍マッカーサーが敗戦大将=天皇制延命した最大理由がこの天皇威光(右翼テロという用心棒)で国民抑圧利用は周知事実。裏切りの存在は敵を喜ばせるが、誰も裏切り者を友人にしたいなどは到底思わない。民主党政権と小沢元代表経緯を見ると、政界検察マスコミこぞっての一人の指導者を巡る大規模な裏切り行為、米支配層はほくそえむが、内心は日本人軽蔑を深めたろう。特に徹底した裏切り推進の菅岡田体制に於いて、3/11 地震兵器惨禍がもたらされてる。

☞:キリスト教福音書(ユダ)、マフィア世界に共通しての最大非難は“裏切り者”。それは組織存在を危うくする筆頭危険因子だから当然。国法もそうなる。

(b)甘えの構造と裏切り : 米国は戦後復興で日本に物資技術文化で供与国(親!), 即ち日本は子供だった。親に理不尽でも仕えれば飴が落ちるの姿勢は当然、相手軽蔑を呼ぶ。

(c)体裁取り繕いの恥文化日本(内面性が頭になる危急時) :

内面的価値観を軽視、経済欲得体裁一途の結果、人格見識が後退、相手からの侮蔑を招来。(高度経済成長時代に欧米市場なで切り、敗者心情への配慮欠如が恨みを買ってたのだ)危急時に体裁取り作り言い訳(保身)が先行し、組織救済優先が後退した大失敗!!!。高位指導者の厳しい内面性(世界観~?人格見識)確保の有無が危急時にこそ頭らになる。

(2)肌の色で人種差別などはむしろ汚い言い訳、“人格見識”だけが相手敬意を獲得できる。幼児や子供世界では人種差別が無いと言う。と言う事は後天文化的背景があるのだろう。欧米人一般は単純に肌の色での人種差別主義者で無いだろう(ナチ系極右では生まれただけでの優生主義思想での差別が確実に存在)。インタナショナルであらざる得ない喜び(嘆き)共感を目的にするサッカーや音楽(芸術)世界シーンを見ると殆ど能力見識(人格)評価であって人種差別を感じない。人生共存を目的にするまともな宗教も然りだろう。欲得の政治経済技術世界になると一歩後退が起きる。そして生命存非を賭ける戦争になると一番顕著になる。だから経済とその遣りすぎ先の戦争だけは最大限度の相手配慮が必須。

(3)指導者(能力見識<世界認識>人格)などは簡単に一夜漬けでは手に入らない、だが、....

(4)ルーチンワーク平時は誰でも出来た、だが“乱世”は全く違ってくる!!!。

まずは問題の定式化。皆様にはこの問題を至急に解いて頂きたい。

(5)筆者は間違えてるのかも、指導者でなく、真相認識欠如で無責任国民こそが元凶なのか。